

## 平成 19 年度県民モニター第 3 回アンケート調査結果の活用状況等について

### テーマ：豊かな地域を考える

#### 豊かさに対する意識

豊かな暮らしに重要なこととして、回答者の「経済的な安定」(72.2%)、「福祉・医療の充実」(51.4%)に続いて、「人との交流」「自然環境」(ともに 30.1%)が挙げられ、生活基盤だけでなく、質的な豊かさに関する項目も上位の回答を得ている。

県では、経済の活性化や保健福祉医療の充実だけでなく、平成 20 年度の重点施策として、自然や文化を愛し、環境を守る『生活の質の向上』を柱の一つとしています。そこで、自然環境の保全・再生、地球温暖化防止対策、循環型社会づくりなどの環境への取り組みや都市・農村交流や県民交流バスなどによる地域間の交流の促進など交流人口の拡大に取り組んでいます。

#### 居住地域に対する意識

現居住地に住んでいる理由を 3 つ選んでもらったところ、「買い物など日常生活に便利」「自然環境に恵まれている」「公共交通機関が便利」が 4 割以上の回答を得ている。

県では、皆さんの交流をはじめ様々な活動や日常生活のための交通基盤等の整備を進めており、JR 姫新線利便性向上対策や生活交通バスへの支援、ケータイエリア拡大プログラムの展開等に取り組んでいます。また、瀬戸内海の再生や、兵庫の森づくりなど森・川・海の再生等自然環境の保全と創造を進めています。

#### 地域社会の課題

多自然居住地域などの集落に人がいなくなることについて、「地域の生活様式などの文化がなくなる」「田畑の管理ができず荒れる」「山や森の管理ができず災害が起こりやすくなる」が回答の上位にあり、地域文化の継承や県土空間の荒廃への懸念がうかがえる。

多自然居住地域の集落が守っている県土保全や地域文化の継承等の機能の重要性も踏まえ、都市農村交流の促進等による地域づくりや集落営農の活性化等地域農業支援とともに、市町と協働し、都市部住民のパートナーとともに、小規模集落の再生の取り組みを支援するモデル事業として、小規模集落元気作戦を 20 年度から新たに始めることとしています。

#### 豊かさのために大切なこと

暮らしを豊かにするために大切なことでは、「安定した収入」(32.1%)、「地域で助け合うこと」(23.0%)、「社会に役立つ仕事や活動をする事」(18.5%)の順で挙げられており、経済的な安定の上で、地域社会の共同利益の実現への志向がうかがえる。

人と人とのつながり、地域の助け合いが、豊かな地域社会を築く上で重要なことから、人と人とのきずなで支え合う『家庭と地域の再構築』を 20 年度の重点施策の柱の一つとしています。そこで、地域づくり活動を支援する地域づくり活動サポーターの設置やボランティア基金等による県民ボランティア活動の支援等を行っています。